

全科協ニュース

1973年1月1日発行
(通巻第9号)

全国科学博物館協議会

東京都台東区上野公園
国立科学博物館内

☎ 110

TEL.822-0111 (大代)

おもな内容：◇年頭のあいさつ、理事長 福田繁 ◇会員館園長年頭のあいさつ ◇特別展報告、山形県立博物館の二つの特別展 ◇全科協『北から南から』鳥取県立博物館 山名巖 ◇外国の博物館を見て、北村パルプ製造KK 大沼清志 ◇会員館園紹介、佐賀県立博物館 ◇会員館園の出版物紹介(2) ◇第2回全科協博物館事業研究会開催のお知らせ

年頭のあいさつ

謹んで新春のおよろこびを申し上げあわせて全科協の皆様のご多幸と御活躍を心からお祈りいたします。

今年は全科協改組の第三年目を迎えることとなります。まず昨年の年頭にあって、私は自然保護の緊急性とこれに対する博物館の任務について述べました。今年もこの問題の緊急性は一向に衰えるどころか益々重要性を増していると思います。皆様がたの館園におかれてもなんらかの方法を講じて、一般を啓蒙していただきたいと思います。

昨年は御協力によって全科協ニュースの発行や職員の技術研修会の開催など有益な仕事をして参りました。これによってお互の情報交換や親睦を図るという大事なことが一応達成できたと思います。しかし、まだまだ十分とは云えないので、今年もさらにこのような事業を拡充してゆきたいと考えます。

全科協として、最も誇りに思ったことは、自然科学系館園の職員のための資格取得の講習会を開催できたことであります。かような講習はいまだかつてどこでも実施されたことがありません。いろいろ困難な制約がありましたが、とにかく第一回の講習会を終了することができてこんなよろこばしいことはありません。

昨年は時期などの関係で多数の参加者がありませんでしたが、28名の参加者は真剣な態度で受講され、見事全員合格という成績を収めました。このことは自然科学系館園の中堅職員に新しい希望の眼を開かせることにもなりましょう。

全国科学博物館協議会理事長

福田 繁

今年は受講者資格、カリキュラム、その他実施時期等について、昨年の経験をもとにして、十分検討し、改善を図って、充実した研修を実施する予定であります。

できるだけ多数の参加希望者が出るよう勧誘方をねがうとともに、運営についても何卒御協力下さるようお願いいたします。

急速に進展してゆく今日の社会に適応してゆくためには、自然科学系館園が先頭に立って充実刷新を図る必要があると思います。その役割を担う者は学芸員その他の職員でありますから、これらの職員の絶えざる研修が重要であることは申し上げるまでもありません。

全科協としては、職員の技術研修や運営問題の研修にもっと力を注いでゆく必要があり、また研究についてもさらに促進できるような体制を工夫することが肝要だと思います。館園独自でやることができない場合は共同研究の方式をとるなり、適切な方法を講じなければならぬと思います。こうした仕事も全科協の一つの役割と考えます。

全科協に加盟する館園の職員が希望をもって、楽しく仕事に精励できるような環境を作ることに努力しようではありませんか。それによってお互の館園の職員も自然と親睦を増すことができるようになりますように。

全科協の皆様の御発展を祈ります。

明けましておめでとうございます

NHK放送博物館 若菜三雄
 ことは、テレビ放送が始まって、20年になります。(28年2月1日でした)。3月には記念展を計画中です。とおぼ、よいちえおかし下さい。

伊良湖自然科学博物館 伊藤務
 同館を周年を迎へ博物館運営が最も難し、一年である事を自覚し地域社会の教育関係者との繋がりや密に社会性のあつた活動方針を樹て実現に努力を怠りません。

アリタキア・ボレタム、有瀧龍雄
 昨年は北米訪問や、日本植物園協会海外植物調査収集隊に職員も参加させるなど多事でした。本年も愛蔵する御支援を賜りたく、年頭に当り御願い申し上げます。

執川バナナ、ワニ園 木村 豆
 創立十五年を迎えました。本年は特に内容を整へユニークな植物園にすべく努力したいと存じます。皆様の御指導御協力を御願ひ申し上げます。

秋芳町立秋芳自然科学博物館 永永孝
 会員の皆さま、おめでとうござります。博物館活動と自然保護に一層の努力を傾注する所存です。どうぞよろしくお願ひします。

明石市立天文科学館 橋本 徹
 プラネタリウムによる天文知識の普及が全国的に広がっています。これによって、自然の星空をまもり、愛する人々がより多く育っていかねばなりません。

観音崎自然博物館 星 山俊二
 養殖水産の必要性を世に提起してきた本博物館は、海洋汚染の緊迫した今日更に一歩を進めて汚染規制の強化に運動推進の年としたいのです。

川崎市青少年科学館 小塚久良雄
 ことは、プラネタリウムだけでなく、ここの環境にあつた本館を建設して名実ともに青少年のための科学館としたいと思っています。どうぞよろしく。

徳島県立青少年センター 徳島 若松重治
 青少年を見れば、その国へ将来やわるといわれております。次代をなう青少年のすくやかさを長く育てることを全額し、本年も一生懸命がんばりたいと存じております。

岡県立科学教育博物館 館長森本謙三
 中国従軍道の開通の前に『中国山地の自然』の展示準備をしております。ことしは、よろしくお願ひ申し上げます。

大阪市立電気科学館 辰巳 博
 日本人の間にはまだ博物館の利用が低く、改善していかないようです。今年も皆様と共に博物館の正しい利用方法を世に訴へようではありませんか。

愛媛県立植物園 園長窪田義直
 本年より小生、植物園の方針を、施設及び内容を拡充し、来園の方々に楽しんで頂ける園を目指して、所存するで、皆々御協力をお願いいたします。

佐賀県立博物館 古賀秀男
 肥前国は、日本の門戸としていち早く、西欧の科学技術を取り入れたところ。今年はこれらの資料の調査、収集に本格的に取り組みたい。何分よろしく。

飯橋藤報恩会博物館 館長飯橋藤之助
 新しい時代にあふれ、新しい博物館として仕上げる為の目下計画中です。当会関係することになりますので皆様の御協力をお願いいたします。

五所法人 天文博物館 常務理事伊藤目黒啓
 当館も楽しい星の科学教室として同館以来十六年目を迎えます。今年も年未に投影機のおバールを貸して、更にお貸した天文博物館に致します。

神戸国際港務博物館 館長西川光一
 今年、創設十周年、増築工事も完成します。来月の港務に想いを馳せ、ミニト神戸の子供達と共に学び、努力し、充実した博物館にしたいと存じます。

交通博物館 館長 古谷 善吉
 交通博物館の社会教育的使命にがんがみ、懐古趣味的なセンスより、交通の近代化と、国民生活に占められたい。を強調する姿勢で、近年に高めたい。

くすのき科学館 協賛 藤堂 次
 くすのき館は、自然の資料を展示するに止まり、今年には更に西沢野をとり入れた日本の葉葉と葉葉への影響を語り、増殖するつもりです。

明けましておめでとうございます

由緒山天文台 金子 切
創立二十五周年を迎えますので、新
観測所を中心に、科学文化施設の充実
を期して、新しい活動を開始したい
と、構想を練つて居ります。

鳥取県立博物館学芸課長 木島幹世
昨春秋に開館し、総合博物館として出
発いたします。とかく取り残されがち
の地方文化の振興に努力しますので、
館界のご協力をお願いいたします。

東京農工大学繊維博物館 館長 大野泰雄
当館は今年で八十六才。長い年月に
は、眠つていた時も起きていた時もあ
りました。本年は繊維科学と工業の
一層の啓蒙に努力したいと思ひます。

東京都児童会館 上杉隆憲
次代を育てることも、建つて迎えて
るために用ゐた。今年も十周年を迎
え、更に一層の建つて迎へよう。
施設として充実を図りたい。

通信博物館長 南野と八
科学博物館は現代科学の母である。
それは若いものに科学の根を常にこ
ろこつと植えて育てていくから。
今年も其難をのりこえ頑張らう。

産業安全技術館 臼井一弄
職場で働く人の幸せのため
本年も各種行事を折り返しで
安全の博物館活動に勤めてまいり
たいと思ひますので、よろしく

東京市立青年科学館 沢部道男
本年は開館十周年にあたり、希望に
ちかづくものあり、従つて全館の
方々へ一層の協力を深め、科学館の目
的達成のため努力いたします。

宮崎大学農業博物館長 外山信男
8学科の学生のために動植物の標本
を大いに充実すると共に教官の研究成
果もより多く展示しようとしている。
農業教育史の標本も充実していきたい。

真鶴サボテドリームランド事務局長 松成善久
開館十周年、あまりぱつとしませんが
牛年に尚かり、牛歩にて力強く一歩一
歩前進する方へでありますので、今後
とも、よろしくお願い申し上げます。

松島水族館長 西崎繁雄
昭和二年に設立した松島水族館も本
年の秋には近代的水族館を新設致す
予定です。一同張つております。皆
様の暖かい指導を宜くお願い致します。

東京市立科学館 小森貞七
十七年経つたように、よりよい科学館
の発展を期して、今年も努力を怠り
ません。今年も、よりよい科学館の
発展を期して、今年も努力を怠り
ません。今年も、よりよい科学館の
発展を期して、今年も努力を怠り
ません。

山形県立山形博物館 臼井華臣
五年を一つの区切りとすれば、当館
は今年で六年目。総合博物館の真のあ
り方をたずねて、地についた歩みを進
めたいと思ひます。指導と協力を。



(以上館名五十音順)

特別展 報 告

山 形 県 立 博 物 館 の 二 つ の 特 別 展

【鳥海山の自然】

山形県は、自然環境に恵まれた東北の仙境の地である。しかし、昨今の観光開発、地域開発ブームは、この豊かな地域にも怒とうのごとく打ち寄せ、環境破壊に対する危機感は極度に高揚しつつある。このような社会事情のなかで、地方博物館の果たすべき役割は、とりまなおさず、地域住民に地域の自然を理解させ、正しい自然観を培うための啓もう活動を地道に展開することが緊急事である。特別展「鳥海山の自然」は、このような趣旨のもとに開催されたものである。

鳥海山は、最高点2,237.4m、東北第一の高山である。特に日本海に直面して噴出した円錐状の成層火山であり、冬の季節風の影響をまともに受ける位置にある。このような特殊な条件下にある鳥海山は、動物・植物・地学の各分野において、きわめて貴重な学術的標本地域であり、恵まれた学術研究の場として、他の諸高山にみられないものがある。

展示は、これら動物・植物・地学の各分野にわたり、**動物部門**では、動物分布上の特色、高山草原の動物、山麓湧水地帯の魚類、高山性の昆虫相等の観点から、鳥海山の動物相を概観的にとらえられる展示をした。**植物部門**では、植物分布上の特色、植物の研究史に残る鳥海山の植物（チョウカイフスマ）、火山荒原への植物の侵入等を取りあげ、鳥海山の植物の概要が理解できるように展示した。**地学部門**では、鳥海火山帯、鳥海火山の成因と地質構造、溶岩の性質等の観点から、アプローチし、難解である鳥海山の火山・成因・地質等が容易に理解できる展示をした。

会期は、昭和47年9月5日から、9月30日まで26日間の短期間ではあったが、多くの観覧者があり、標本・写真分析表・模式図・分布図を用いた多彩な内容で意義の多い催しものとして、好評のうちに終了できた。

【山形県のおしば展】

自然環境の変化に富む山形県の植物分布は、地形的・気候的な要因に極度の制限を受けるために、植物分類及び生態学的に貴重な分布相観を示しているところである。つまり、低山帯から高山帯にいたる幅の広い分布や、分布相の逆転等が、処々にみられ、種類も多く、その豊富さは本邦でも屈指の特殊な地域にみられている。このように変化の多い自然のなかに生まれ、育まれるという土地柄だけに、山形県には、自然史研究を志す研究者、同好者が極めて多い。

このおしば展は、県下の中学校・高校・大学等のク



「鳥海山の自然展」イワウメ



「日本の並木、街路樹」展示の一部

ブ及び一般の植物同好者に呼びかけ、本年度中に収集したおしば標本を、各自が持ち寄り公開展示されたものである。したがって、この催しは、県下の植物資料を一見できるという利点ばかりでなく、植物同好者相互の情報交換にも役立ち、ひいては、山形県の自然史研究の向上発展等のために数多くの役割を果たすものと考えられる。

展示は、前述の特殊な分布事実を通して、山形県植物の特異性を理解できるように、地域別分類展示とした。

特別展示の「日本の並木・街路樹」は、環境汚染等が深刻な社会問題になっている今日、緑と光を求める気運が、日毎に高まるなかで、その対応策が皆無に等しい状態にある。そこで、身近かで、だれでもが参加できる緑の回復をねがって、日本の並木・街路樹を取りあげ、日本の古代から近代にいたる並木・街路樹の変遷を追いつながら、その長い歴史のなかで、我々人たちが、緑の保持にいかにより努力し、苦心をしてきたかを、おしば標本、解説、写真等を用いて展示を行なった。

会期は、昭和47年12月5日から、昭和48年1月31日までである。

(学芸員 吉野 智雄)

「全科協北から南から」

総合博物館と自然史

鳥取県立博物館学芸係長 山 名 巖

鳥取県立博物館は昭和47年10月1日、新しい建物で開館しました。内容は従来の科学博物館時代の分野を中核として他の分野（美術・史料）をも含めた地方の総合博物館として再出発することになりました。これを機会に従来より感じていた地方博物館に共通する自然史の立場を二三挙げてみたいと思います。

当館の科学分野については、過去20数年にわたっての活動がありましたので博物館の地域社会での認識や関心も比較的高いようですが、反面自然科学に対する評価が低調になるような風潮が見聞されます。その理由は自然史関係の利用者に子供が多いということ、自然資料の収集方法が理解されていないことによると思います。この傾向は博物館の実態を知らない地方の文化人と呼ばれる人に強いので困ったものですが、地方博物館の多くが総合博物館の一環として自然史を取り扱わざるを得ない立場にありますので、担当学芸員は自然史が持つ役割を十分に考えて対処する必要があるように思われます。

常設展示では地域の歴史や文化の根幹は自然史を背景にして成立しているということ、自然そのもののものの歴史性や仕組みの理解を助けることを意図して展示を構成するようにしたのですが、この場合、当館が取り扱う地域は県立であるから県外の資料まで収集する必要はないという考え方が内外からありました。これは地方博物館と郷土博物館を混同した考え方であって、両者ははっきりと区別するべきだと思います。特に自然史の場合には地域を狭く限定されると地史や分布現象の展示に歪みを生じたり、学校の教材に出るような基本的資料も展示できなくなってしまいます。やはり自然史の展示にはときに汎日本的、汎世界的視野の中で地域性を強調する必要があります。一般観覧者も地方博物館を通じて中央の資料に触れられることに魅力があるようです。

地方博物館の研究体制の貧弱さは今さら言うまでもないことですが、もっと悪いのは調査や研究は大学がするところであって博物館は必要によってその成果を導入すればよいという考え方があることです。特に自然史の資



生物展示室の一部



地学展示室の一部

料収集や研究は館独自の方向性を学芸員が中心となって打ち出しておかないといろいろな面で後退しかねない感じがします。このことは初歩的でもあり、また基本的なことで、総合博物館のように内容が多岐になる程、大切だと思います。

次回は貴方が指名されるかも知れません

このコーナーは、全科協会員館園職員の皆様から、リレー式でご寄稿いただくコーナーです。ご寄稿になった方は次の寄稿者をご指名になる権利があります。指名された方は、随筆、書評、ご意見何でもご寄稿下さい。ご寄稿者のプロフィールを、身近の方に書き添えていただいて下さい。できるだけ、ご寄稿者の写真を同封していただきたいと思います。

《6頁より続き》223P、320円：月例ポスター（月刊）B全。鳥取県立博物館④鳥取県立博物館案内(47・9)B4、三折⑧鳥取県立博物館要覧(47・9)B5、⑨鳥取県立科学博物館研究報告(年刊)B5、35P⑩郷土と科学(年2回)A5、32P⑪開館記念「郷土美術名作展」(47・9)A版、300円。国立科学博物館④国立科学博物館概要、(1回年)A5、22P：GENERAL GUIDE NATIONAL SCIENCE MUSEUM (47・7)A5、33P国立科学博物館分館、(47・4)B5、11P⑧生物の進化(47・10)B5、4P：適応と進化(46・12)B

5、6P：日本の動植物(47・3)B5、4P：太陽と宇宙(47・3)B5、4P：動物の系統分類展示(47・11)B5、4P：植物の系統分類展示(47・11)B5、4P：古生物・鉱物及び岩石の分類展示(47・11)B5、4P⑨国立科学博物館研究報告(年4回)B5：国立科学博物館専報(不定期)B5：南極資料(年3回)B5：JARE Scientific Reports, SeriesA-F(不定期)B5：JARE Data Reports(不定期)B5：自然科学と博物館(年6回)A5、34P⑩国立科学博物館ニュース(月1回)B5、6P

外国の博物館をみて(シカゴの思い出)

北村バルブ製造株式会社広報課長 大沼 清志

ここ数年来、企業活動も海外市場との交流が急速に活発になっている。したがって、日本を知る外国人、海外の国々を知る日本人も多くなってきている。私の勤務している会社でも、数年前から積極的に海外への進出を図り、そのため私も外国を見聞する機会に恵まれ、仕事もさることながら、異国の土地土地の風土、民族性に接し、また、その土地の博物館、特に理工系博物館を訪れることができるので、このことが何よりも楽しみであり、また新たな角度からいろいろと教えられる点も多い。従って、海外出張の折、現地での仕事が終わると、科学博物館の所在地を尋ね、たとえ僅かな時間でも、訪れた国の科学博物館を見学するように努めている。

今までに、海外で見学した数多い博物館のうち、特に印象に残ったところの一つとしてシカゴでの博物館の思い出が懐しい。

シカゴは初めてでもあったので、到着の翌日、市街を知っておこうと、グレイラン観光バスに乗り、名所巡りをしたときである。コースの半ばでミシガン湖畔の科学博物館に立寄った。ジョークと混えて話す黒人ガイドの案内を聞き違いをして、大いそぎで館内を見学してバスに戻って見ると、バスは私を置き去りにして出発したあとであった。バスに置き去りにされた私は、おかげさまで正午から5時の閉館まで、心ゆくまで館内を見学する機会を得ることになった。博物館の建物は非常に大きく、その昔飛んでいた懐しい複葉機の実物が3機、ドー

ムの天井から頭上につり下げられ、床上には大きな機械、車両が陳列されていた。

展示物そのものはとにかく、ディスプレイのうまさ配色の調和、場内の環境づくりについては、よく考えてやっているのには感心した。展示品の解解パネル一枚にしても、優れた専門的感性がにじみ出ており、統一的色彩、レタリングも優れていたのが印象的であった。またディスプレイにも on the job training とでもいうのであろうか、見学者が直接手に触れ、実感を味わいながら楽しむ形式のものが数多くあり、私が訪れたのはウィークデーにもかかわらず、入館者も非常に多く(入場無料)中学生、高校生、家族連れが特に目立ち、見学者のマナーもよく、空調調節が行きとどいた館内を、快適な気分で見学できるようによく気がくばられていた。展示品は特に目新しいものではなかったが、損傷がなかったのが本当にによりであった。特に調整中とか故障の表示は皆無で、可動展示物はよく調整されていて、実に気分よく見学できた。

科学博物館が好きで、都内はじめ日本各地の博物館を見学するとき、いつも味わういやな思い(故障損傷の展示物)はこのシカゴの博物館では一度もしないで済み、見終って重厚な博物館を出たときは、新しい感覚が心に詰ったような気分であった。そして、アメリカの歴史と現代とをあらためて感じたのである。

会員館園の出版物紹介(2)

前号より続き

NHK放送博物館 ①NHK放送博物館ごあんない(年1回)B5、リーフレット、②博物館だより(年2回)B5、6～8P、③NHK記録映画を見る会(年12回以上)ポスター、**神奈川県立博物館** ①入館者配布用リーフレット(47・8・25)変形A8ツ切、アコーディオン折6P：館外PR用リーフレット(47・6・30)変形A8ツ切、アコーディオン折、4P、②特別展「海に生きる鳥」図録(47・7・18)B5、31P一部有償、③博物館だより(年6回)B5、8P、④特別展「海に生きる鳥」ポスター(47・4・15)変形A版：特別展「貝の世界」ポスター(47・6・15)変形A版、**東京都高尾自然科学博物館** ①高尾自然科学博物館のしおり(季刊)B6、8P：事業概要(47・3・1隔年刊)B5、18P、②東京都高尾自然科学博物館研究報告(年1回)B5、70P、**川崎市青少年科学館** ①川崎市青少年科学館リーフレット(47・8・10)B4、3ツ折、**通信博物館** ①通信総合博物館のあらまし(年1回)B6、3ツ折：通信総合博物館見学のしおり(年1回)B5、8P：通信総合博物館(年1回)変形8ツ切、20P、②通信総合博物館のお知らせ(月1回)A5、3ツ折、**大阪市立自然科学博物館** ①大阪市立自然科学博物館館報(年1回)B5、20P、交換、②大阪市立自然科学博物館収蔵資料目録(年1回)B5、116P：大阪市立自然科学博物館研究報告(年1～2回)B5、45P、③Nature Study(月1回)B5、2P、150円、**福井市立郷土自然科学博物館** ①博物館同好会報(年1回)B5、75P、②博物館だより(月1回)2P、**天文博物館五島プラネタリウム**、③宣伝ポスター(月1回)B2、**徳島県博**

物館 ①要覧(年1回)A5、22P **アリタキ・アーボレータム** ①入園のしおり(46・4・20)6P ② Guide Book of The Aritaki Arboretum (46・4)B5、16P、200円：植栽樹木目録(46・4・30)B5、33P、③Seed of Exchange List(43～47)3冊、B5、6～10P：Arboretum Note (43・9・15～47・4・15)創刊号～第4号、A5、15～38P：展示会、見学会の参考資料「椿」(44・4・13)B5、8P：同前「花しょうぶ」B5、6P、**市立名古屋科学館** ①見学のてびき(43・4・30)B5、48P、100円：市立名古屋科学館(47・3・31)A5、20P、②展示品解説の手引(41・1・1)B5、128P：科学館展示品と理科カリキュラム・関連一覧表(41・2・1)B5、10P：同前、小学校一覽表(40・1・1)B5、25P：同前、中学校一覽表(40・1・1)B5：宇宙(40・1・1)B5、48P、100円：星座12ヶ月(47・1・1)B5、25P、100円：星のはなし(47・1・1)B5、48P 100円、③科学館紀要(46・6・15)B5、30P、④科学館ニュース(47・9・1)B5、4P、[その他]同好会、友の会テキスト、宣伝ポスター、多数、**横須賀市博物館** ①博物館教育資料シリーズ(年6種)菊5、12P、60円、②博物館研究報告、人文科学(年1回)B5、同前、自然科学(年1回)B5、③博物館雑報(年1回)B5、**科学技術館** ①科学技術館への招待(47・5)B5、68P、100円：パンフレット(47・5)B4、三ツ折②解説パンフレット(20種類)A4、③科学技術館月報(月1回)A4、12P、50円、**交通博物館** ①博物館概要(47・5・1)B5、10P、②博物館ガイドブック(47・4)B5、24P、100円：交通のQ&A(47・7)A5、20P、100円：交通「世界の鉄道」(47・5)A4、16P、170円：③鉄道100年絵はがき(47・8)10種200円：鉄道唱歌の旅(46・10)新書版、《5頁へ続く》

会 員 館 園 の 紹 介

佐 賀 県 立 博 物 館

(The Saga Prefectural Museum)

佐賀市城内1丁目15番23号 ☎ 840

☎ 09522-4-3947

鉄筋コンクリート3階建，建物面積4,638㎡（内展示室，1,737.1㎡），敷地面積30,903㎡（公園を含む，内屋外展示510㎡）

佐賀県立博物館は，明治100年の記念事業として新設した博物館で，旧佐嘉城の三の丸跡にある．建物はカササギ（県鳥）が翼を上げたように，またクスノキ（県木）の太木が枝を上げているかにも見える．これは，有明海の沖積干潟の自然陸化作用によって造成された土地にあるため，極めて排水の悪い立地条件から，貴重な，資料および展示品を保護するために，1階より2階，2階より3階の方が床面積が広い建物になっているからである．

展示の概要は，ロビーに市内の熊本山から出土した，古墳出土物としてばかりではなく，造船技術資料としても珍しい舟形石棺．建物の壁面を利用して，古墳の壁画をデザインした日輪模様の有田焼の磁器タイルの壁画がある．常設展示物には，2階に自然史資料，3階に



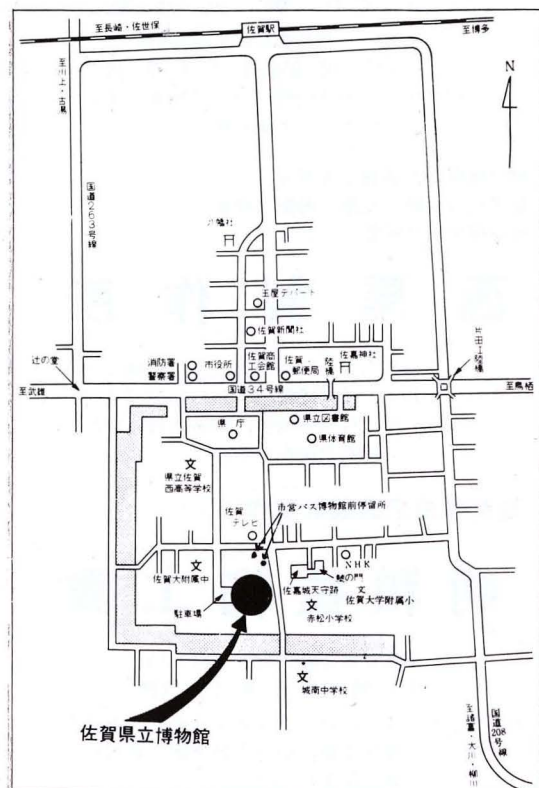
考古，歴史，美術，工芸資料に分けて，郷土佐賀の歴史と文化を紹介している．

自然史資料は，佐賀県の代表的な，珪石の大塊：安山岩：真珠岩：有田焼の原料の陶磁石：球状閃緑岩（俗名ナポレオン石）等と：来館者の人気の的，恐竜（タイラノザウルス）の2分の1模型：大型アンモナイトの化石：伊万里湾に産卵するカブトガニに関する標本資料：25,000分の1の地形模型で，県内の山，川，峠，滝などの自然環境の紹介：県鳥カササギの生態：佐賀の化石：玄界灘の魚類等，四季の植物，昆虫など佐賀の自然の紹介に力を注いでいる．新しい展示，「有明海の干潟と生物」は，潮の干満の差の大きいことで有名な，有明海と，そこにすむムツゴロウ，ワラスボ，シオマネギ（マガニ），ジャミセンガイ，アゲマキ，ウミタケなど，珍しい生物の生態について，長期間の実地調査の結果をまとめたもので，干潟の色，形，水溜りの状態など，有明海の自然を紹介する資料として県内外を問わず好評を得ている

自然史の資料収集は，国内はもとより，海外においても，学術的に権威のある資料を収集することに努力し，自然史を探究する人々への貢献を念願としている．

また，開館記念特別展としての「化石展」は，関係各館のご協力によって，化石や地史などを展示して非常に好評を得た．将来は，地球の創成と，生物の進化とを結ぶような展示や，自然保護を中心として日本列島展などの企画を実現しようと努力中である．

なお，展示は，学芸課の，課長手塚静雄，資料係長尾形善郎，学芸員森醇一郎・三輪英夫，嘱託久保儀市が主として担当し，普及係として事務職員音成昭道他，2名が当たっている．



【あとがき】 1973年の新春号をお送りします．ニュース記事が少なくなっています．会員館園の皆さん一人一人が編集者となっていただき，一つでも多くの記事を寄せられることをお願いします．

“第2回全科協博物館事業研究会”開催のお知らせ

昭和47年度の全科協博物館事業研究会を下記の予定で開催します。

この研究会は、展示や教育活動などについて、科学博物館の運営上、当面している諸問題のありかを明かにし、これを解決する効果的、実地的な方法を体験をとおして追求し、急速に変わりつつある社会情勢にあわせた博物館事業を研究することがねらいです。

今回は、展示技術のうち、とくに解説パネル類の効果的利用と、製作技術についてとりあげ、研究発表、研究討議、ならびに、製作技術の実地見学などをとおして相互に研究し、研究会の結果が、日常の活動に実際に役立つ内容にしたいと思います。

会期等は次のとおりですが、日程、内容の詳細につきましては、近日中に各館園長宛にお知らせします。一人でも多く参加し、活発に意見の交換をされることを希望しています。

会期、昭和48年2月22日(木)、23日(金)、24日(土)

会場、国立科学博物館、科学技術館ほか(予定)

参加資格、全科協会員館園で、実際に展示、運営に従事されているかた。

なお、参加される方からあらかじめ解説パネル類についての問題点、疑問点を提出していただき、研究討議の問題として活用することを考えています。

謹 賀 新 年

全科協会員館園施工業者(五十音順)

「動き、光り、映り、語りかける」視聴覚総合解説模型、パノラマ、シュミレーター等
創業より三代、80年間、つねに
信用と実績を誇る総合模型メーカー

内山模型株式会社

本社 東京都千代田区神田小川町3-2新小川町ビル
Tel. (03)294-0191(代)
主な納入先、国立科学博物館、科学技術館
神戸国際港湾博物館、東京都児童会館

ディスプレイに新しい分野を開く

(株) つつみ 商会

取締役社長 堤 万三郎

本社 東京都北区田端町678
Tel. 03(918)3795(代)
主な納入先、科学技術館、交通博物館、株式会社
電通、日本鋼管株式会社

科学館 展示用模型
博物館

(株)榎本模型製作所

Tel. (03)255-0791

主な納入先、交通博物館、国立科学博物館、山梨県立青少年センター、通信総合博物館、旭川市青少年科学館、神奈川県立青少年センター

博物館展示用各種ジオラマ
動植物の分類、生態、解剖、模型、
地学等学術用模型、パノラマ

西 尾 製 作 所

京都市東山区山科柳辻池尻町48
Tel. (075)581-0847・8477
主な納入先、国立科学博物館、神奈川県立博物館、
宮崎県立総合博物館

シュミレーター、科学模型、電飾パネル、
音響映像効果装置、プログラム装置

株式会社 科学工芸研究所

東京都新宿区市ケ谷田町3-4 ☎ 162
Tel. (03)269-6381(代)

主な納入先、科学技術館、国立科学博物館、九州電気科学館、日本楽器製造株式会社

理科学展示品設計製作

明 和 技 術 工 業

東京都世田谷区代沢5-34-14
Tel. (03)413-0011(代)
主な納入先、神奈川県立青少年センター、市立名古屋科学館、仙台市科学館、新潟県中越青少年センター